



# 東アジア経営学会国際連合 産業部会会報

International Federation of East Asian Management Associations  
The Newsletter of IFEAMA Industry Section

## 第11号

2019年4月

### 第15回東連国際大会(京都大会)近づく

文 副会長: 貫 隆夫

第15回東連国際大会は実行委員長の塩地洋氏(京都大学院経済学研究科教授)を中心に着々と準備が進められています。吉野文雄氏(拓殖大学)、林倬史氏(国士舘大学)が統括される大会投稿論文の査読が進行し、大会プログラムの概要が固まりつつある段階です。今回はベトナムから21報告(著者数56人)が出されており、日本、中国に次ぐ参加者数が見込まれています。モンゴル、ネパール、ロシアのほか、アジア圏以外からもハンガリー、オーストラリアからの参加が予定されています。中国からは約50人の参加者(報告論文35本)を派遣することになったと、連絡を頂きました。于金教授からの連絡によれば、中国側の約50人の参加者のうち10人が産業部会セッションへの参加を希望しているとのことです。

京都大会において既に確定している産業部会報告は日本側から二人です(下記プログラム参照)。前号でもお知らせしましたが、京都大会の日程は6月17日のIndustrial Visit(工場見学)を含めて、6月18日、6月19日の3日間ですが、産業部会のセッションは6月19日の午前の二つのセッションで行われます。なお、産業部会には会場として京都大学の中心施設である百周年時計台記念館のHALL1(第1ホール)が当てられています。当日は昼食のあと中外製薬株式会社代表取締役会長 永山治氏による講演が予定されており、参加費は永山治氏の講演・閉会式を含めて6月19日のみの場合は1万円、17日の工場見学や18日の学術部会も含む参加の場合は300ドルの予定です。

#### 京都大会 産業部会プログラム(予定)

6月19日(水)	HALL 1	
9:15~10:45	産業部会 セッション1	報告1「CO2を原料とする水素ガス製造」 報告者: 廣田 武次(株式会社Eプラス 代表取締役社長)
		報告2「中小企業型ビジネス・コンダクト・ガイドラインー作成、メリット、活用ー」 報告者: 折原 浩(株式会社ディセンター 代表取締役社長)
10:45~11:15	コーヒー・ブレイク	
11:15~12:45	産業部会 セッション2	各国報告(準備中) 参加者自己紹介
12:45~14:00	ランチタイム	
14:00~14:30	学術部会	
14:30~15:00	コーヒー・ブレイク	
15:00~17:30	講演: 中外製薬株式会社 代表取締役会長 永山 治氏 全体セッション・閉会式	

## Topics >> 第9回産業部会サロン開催

### “日本の製造業は生き残れるか—グローバル化と M&A の視点から—” 三井 一郎氏 (元小松フォークリフト社長)

製造業の空洞化が叫ばれて久しくなりました。このまま日本から製造業が消えてなくなるのではないかと心配されています。そこで今回は世界的な建設機械メーカーであるコマツが展開してきたグローバル化の過程を検証しながら製造業の生き残り経過を考えてみたいと思います。

日本経済が成長軌道に乗った1960年代以降コマツの“物作り”は大きく4つの過程を経て充実してきました。

コマツ工場の海外進出

- |               |               |                             |
|---------------|---------------|-----------------------------|
| ①高度経済成長の時代    | ’60年～’70年半ば   | 国内生産ですべて対応                  |
| ②輸出の拡大の時代     | ’70年初め～’80年半ば | 当該国の国産化規制への対応               |
| ③海外生産拡大の時代    | ’80年半ば～’90年半ば | 建機の先進大市場である欧米市場でのローカライゼーション |
| ④グローバル連結経営の時代 | ’90年半ば～       | 成長市場への対応                    |

特に欧米に進出した1980年代半ばからの海外進出(工場のみならず販売拠点の)のスピードは加速して行きました。

実際の進出形態は 現地に工場を一から作り上げたり 現地の会社を100%買い上げたりしましたが現地の経営ノウハウを手に入れたい場合には50:50の比率で合弁会社の形を取ってスタートした場面もありました。

1990年代後半に至り 世界中に張り巡らせた生産、販売、サービスの拠点を効率的に運営するために 製品、部品をクロスソーシングする方法が確立し運用を開始しました。すべてが順調に運んだわけではありませんでしたが。

しかしながら2000年に入るとグローバルな経営の仕組みは出来上がりましたが、他方では世界的な不況と内部体制の不備もあって赤字に落ちたのを機会に小松も抜本的なリストラクチャリングに踏み切りました。そこで実施した対応策がその後のコマツを大いに救うことになりました。

まず“弱みを改革”する施策として固定費の大幅削減や非建機事業の自立、再生を計り 大いに効果をあげました。

他方“強みを磨く”策では、建機のような重量物の製造はその製造工程にこそノウハウが秘められており、グローバル生産体制の中にあっても日本に残すべきものと決定しました。又 一番大切な商品開発の面では“ダントツ商品の導入”をすると共に全ての商品へのICT(GPS、インターネット)の活用を図った結果、それまでの概念を大きく変えてお客様、代理店、コマツの三者にメリットをお届けすることができるような商品開発が相次ぎました(例えば、コムトラックシステム、無人ダンプトラック運行システム、ドローンを使ったスマートコンストラクションシステムなど)。

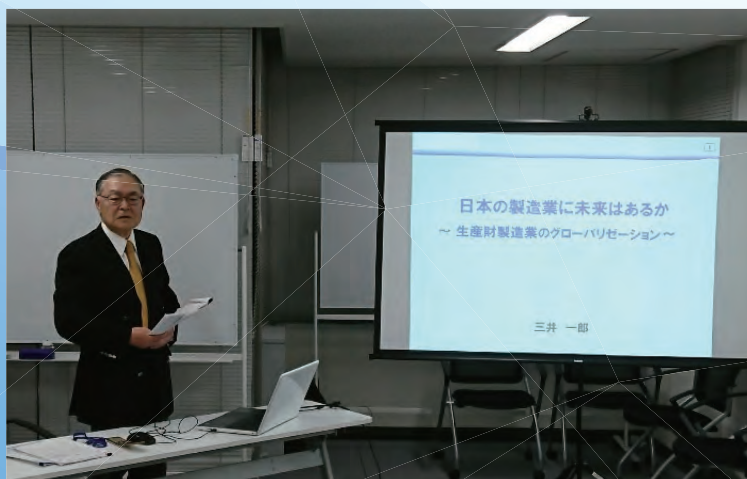
このような改革を経てコマツは2018年の決算は過去最高益を記録できるまでに体制が整ってまいりました。

そのバックグラウンドには1990年代から地道に続けてきた

- ①情報武装
- ②社内(外)教育活動の徹底があることは言うまでもありません。

このように見てまいりますと全ての製造業の将来が安泰というわけにはゆきませんが、少なくとも重量物の製造業についていえば

- ①生産工程のノウハウを守り
  - ②ソフト化した業態への転換(2次→3次)を計る
- という不断のの努力を続けることで 生き残りの道が見つかるでしょう。



S 世界有数の建機メーカーとして成長していった過程を、非常に多くのデータや具体的な実効策を明記して頂いたプレゼン資料を見せて頂いたことは貴重な体験となりました。その当時の経営者としての言葉に非常に重みを感じ、大変貴重なお話を聞かせて頂きました。一会報編集担当

### ◎陳 藝紅氏

---



陳 藝紅と申します。私は1995年3月に来日し、日本の総合商社の中国事業部で10年間仕事をした後、自ら起業し、ファッションジュエリーのブランドSIYANI、コスメ・ヘルスケアブランドBeautyLuxを立ち上げ、運営していました。2018年に中国企業と資本提携を行い、新規事業を試みています。

慶応義塾大学の野口祐教授ほかアジア各国の経営学者が協力して30年前に東アジア経営学会国際連合(IFEAMA)を立ち上げたとき、中国側の学会の副会長であった父を通じて私は野口先生と野口ゼミに出会いました。以来、野口ゼミの勉強会への参加やIFEAMAの学会参加を通じて沢山のことを学ぶことができ、この出会いをとても大切にしています。今回、産業部会の幹事に就任できたことを大変光栄に思います。先輩の方々のご指導を受けながら、産業部会の活動を広げていきたいと思ひます。宜しくお願い申し上げます。

### おさだ くにひろ ◎長田 邦博氏

---



日本水産株式会社の長田と申します。

今年から産業部会の幹事を務めることになりましたので、よろしくお願い申し上げます。今年は、何と言っても京都大会を成功裏に収めることが大きな責務と考えています。会員の皆様の更なるご協力をいただければ幸いです。

慶応義塾大学商学部(野口ゼミ)卒業後は、日本水産(株)に入社し、営業部門、企画部門(マーケティング、経営)、管理部門(情報、経理)を経験してから、子会社のモガミフーズ(山形県にある冷凍食品を生産している会社)に経営者の一人として出向をしました。

「ものづくりは人づくり」をモットーに、8年間、生産現場と向き合ってきました。「ものづくりの心」の啓蒙活動や「現場は生き物」と言われるように、変化への対応(問題解決)で日々悪戦苦闘の連続でしたが、多くのことを学ぶ(実践知を習得する)ことができました。

幹事の責務を果たしながら、自らも成長し続けることができる人材になりたいと思っております。未熟者ですが、今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 【次回産業会サロンのご案内】

次回のサロンを以下の通り開催します。

■日程：2019年 5月 18日(土)

■時間：14時～16時(予定) ※受付は13時より開始

■会場：明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー9F 1095教室

<講演>

講演者：千葉商科大学 池田 武俊氏(サービス創造学部 准教授)

テーマ：『サービス業における生産性向上のためのマネジメント』(予定)



■申込方法：参加ご希望の方は、下記メールもしくはお電話にてお申し込みください。

■産業部会事務局(担当：飛田)

E-mail: [info@ifema-jis.com](mailto:info@ifema-jis.com)、 TEL:090-3596-7910(当日連絡先兼用)

ご連絡時に、ご氏名、ご所属(会社名など)ご連絡先をお伝えください。

### 【編集後記】

会報誌第11号は、主に貫、三井が担当致しました。

今回は、第4回年次総会となり、2019年8月3日(土)午前10時より予定しております。

場所は昨年と同じく明治大学 駿河台キャンパス 研究棟内を予定しております。

講師と講演テーマは下記の通りとなります。

- ・福山 義人氏(株式会社マネジメント・サポート代表取締役社長、元(株)CSK HD 代表取締役社長)より『あるIT企業の成長・挫折再生 カリスマ 経営者を支えた視点から』
- ・板垣 博氏(武蔵大学・埼玉大学 名誉教授)より『アジア企業と日本企業 製造業における経営課題』

皆様やご友人の方のご参加をお待ちしております。

■発行責任者：望月邦彦(産業部会 部会長)

■発行日：2019年4月

■各種お問い合わせ先：産業部会事務局 幹事：飛田

E-mail: [info@ifema-jis.com](mailto:info@ifema-jis.com) Home Page: <http://www.ifema-jis.com/>